News release

株式会社アクティオ

2026年11月17日

アクティオブース　大盛況のうちに閉幕

「2026わかやま森林・林業・環境機械展示実演会」に出展しました

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ（本社：東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO：小沼直人、以下アクティオ）は、2026年11月8日（日）～9日（月）の2日間、和歌山県の旧南紀白浜空港跡地で開催された「第49回全国育樹祭　2026わかやま森林・林業・環境機械展示実演会」に出展しました。アクティオブースには多くの来場者が訪れ、盛況となりました。



当日の様子

本展示会では、林業現場の安全性向上と作業効率改善を目的として、最新のレンタル機械や多彩なソリューションを紹介しました。実機展示やデモンストレーションを実施し、来場者から高い関心と好評をいただきました。遠隔操作で地拵え作業が可能な「ラジコン式地拵機」や、街路樹伐根作業で活躍する「根こそぎ切るソー」のほか、熊の検知も可能な低遅延のクラウドカメラ「AktioEyes」や高速・大容量の衛星ブロードバンド「Starlink Business」など、林業現場でも活躍する DX 機器も展示し、さまざまな提案を行いました。

さらに、グラップルやホイールローダ、グラップル付きトラック、アタッチメントなどの中古販売を行い、多数の成約につながるなど、来場者から大変好評を得ました。

エスアールエス株式会社、株式会社電動舎、株式会社東海大阪レンタル、株式会社あさひコーポレーション、株式会社サイテツといったアクティオグループ各社とともに出展し、グループの総合力と幅広い対応力を訴求する機会となりました。

【主な出展機械】

■ラジコン式地拵機　LV-800 PRO

伐採後に残された木の根や枝、切り株などを粉砕します。最大60度の勾配を前後左右に走行できる馬力を持ち、最大約100m 離れた場所から遠隔で操作ができるため、安全に地拵え作業をすることが可能です。



■根こそぎ切るソー

街路樹伐根作業に活躍するアクティオ独自開発のバックホーアタッチメント。円筒型の刃を回転させて切り株を包み込みながら地中の根を効率的に切削します。
※2025年度グッドデザイン賞を受賞



■AktioEyes

1秒未満の低遅延を実現し、リアルタイムでの監視・操作が可能なクラウドカメラ。カメラは光学ズーム21倍のパンチルトズームモデルと、照明のない暗闇でもはっきり見える赤外線モデルの2種から選べます。AI 自動検知と発報機能（開発中）で熊対策にも有効です。



【中古販売】

グラップルや林業仕様車両などの中古機械販売を行いました。





■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営　2014年　幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専業レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】https://www.aktio.co.jp/
【アクティオ Facebook ページ】https://www.facebook.com/aktio.jp/

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ　広報部　担当：成澤、高島
TEL：03-6262-7867　FAX：03-6262-7982
e-mail：koho@aktio.co.jp